

埋蔵文化財センター 秋季特別展

埋蔵文化財センター開館40周年を記念して、「発掘調査写真が語る守山の移り変わり」をテーマに開催します。

時10月3日(土)～11月29日(日)

午前9時～午後4時

(火曜日および休日の翌日を除く)

所埋蔵文化財センター

内下之郷遺跡など21地区29遺跡の調査写真と出土遺物約150点の展示

他開催準備などのため、9月15日(火)～10月2日(金)、11月30日(月)～12月11日(金)は休館します。

秋季講演会を実施

時11月21日(土)午後2時～

所埋蔵文化財センター

内講演「古代国家の成り立ちと『近江』」

講植田 文雄さん(佛教大学歴史学部講師)

定先着30人 **費**無料

申11月20日(金)までに下記へ申し込み。

問埋蔵文化財センター **電**・**宿**・**電**(585)4397

文化・スポーツ課からお知らせ

佐川美術館特別展 生誕90年平山郁夫展 悠久のシルクロード



《文明の十字路を往くーアナトリア高原 カップパドキアトルコー》
2009年 平山郁夫シルクロード美術館 蔵

時9月5日(土)～11月23日(月・祝)

午前9時30分～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

※月曜日(祝日の場合は開館)、9月23日(水)、

10月20日(火)～23日(金)は休館

所佐川美術館

費一般：1,000円、高校・大学生：600円

中学生以下：無料(保護者同伴要)

問佐川美術館 **電**(585)7800

佐川美術館
アートコラム③⑦

砂漠とラクダに込められた想い
—平和の祈り—

佐川美術館
学芸員・藤井 康憲

東洋と西洋を結び、上質の絹を運んだ歴史的
交易路であることからその名が付けられたシル
クロードは、単なる交易路というだけでなく、
東西の文化が交わる道でもありました。

日本画家・平山郁夫(1930-2009)
は、アジアとヨーロッパを結ぶシルクロードを
テーマに、40年間に百数十回、距離にして40万
キロ(地球10周分)におよぶ壮大な旅を敢行し、
その中で多くの作品を生み出しました。

特に砂漠を行くラクダのキャラバン隊は、平
山の代表的なモチーフとなります。目の前に広
がる砂漠の中、ラクダを引いたキャラバン隊が
ゆっくりと行き交うことは、争いの無い平和な
状態であるといえます。15歳の時の広島での原
子爆弾による戦争体験から、平和を希求し続け
た平山にとって、砂漠を行き交うキャラバン隊
は、まさに平和の象徴でもあったのです。

今では車や飛行機の発達により、ラクダによ
る物資輸送は、一部の地域を除きほとんど行わ
れないのですが、平山は当時の過酷な環境下
において、命の危険すらあったキャラバン隊に想
いを馳せ、平和の祈りとともにその姿を時に克
明に、時に幻想的に描き、さまざまに表現した
のです。

今年、平山郁夫の生誕90年の節目に当たり
ます。佐川美術館では全国の美術館が所蔵する
平山作品を紹介する展覧会を開催します。これ
まで当館で見られなかった名品の数々をご覧ください。

※開館情報につきましては、ホームページでご確認いただくか電話【☎(585)7800】でお問い合わせください。